

氏名		実技研修 (希望コース)	
自宅住所 〒 -		A ・ B	
TEL. ( )		C ・ D	
勤務先 都・道 府・県	小学校	教職経験年数( 年)	TEL. ( )
※子ども同伴の場合			
子ども氏名(年齢)	( 才)	( 才)	
( )人	( 才)	( 才)	

## 第37回 児童造形教育研究会

# 造形活動だからこそその“かかわり合い”とは

～ 鑑賞(みる・さわる) → 感じる → 共感 → 表現へ ～



— 昨年の研修会の様子から —

■ 参加費  
5,000円(資料代・材料費含む)

■ 定員 150名  
(定員に達した時点で締めさせていただきます)

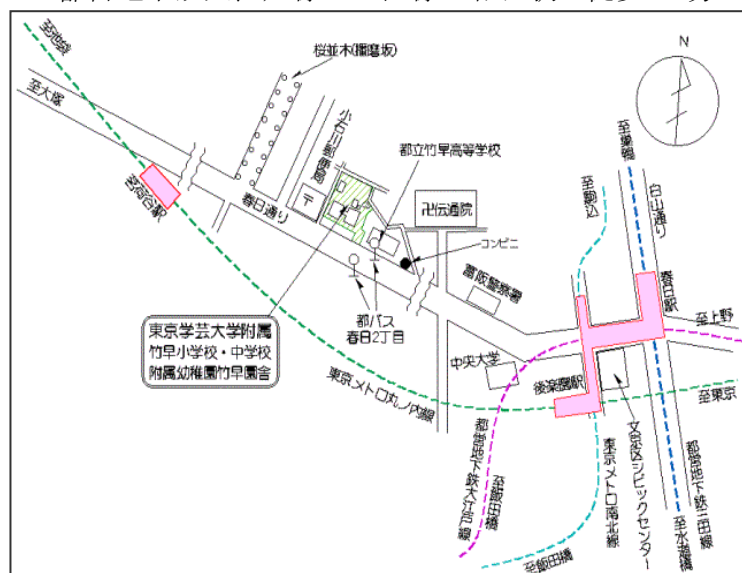
■ 申込方法  
申込書に必要事項を記入し、参加費を添えてお申込み下さい。  
参加費は、現金書留または郵便振替でお願いします。  
(郵便振替口座番号: 00170-1-254931)

■ 申込み・お問い合わせ先  
〒111-0052  
東京都台東区柳橋 2-20-16  
クレパスビル内  
児童造形教育研究会 事務局  
TEL.03-3862-3937 Fax.03-3862-3905  
メール t-bijyutsu@craypas.co.jp

- 講師
- ・安倍 啓斎 (台東区立平成小学校)
  - ・石賀 直之 (東京造形大学)
  - ・伊藤 龍豪 (川崎市立南生田小学校)
  - ・大泉 義一 (横浜国立大学)
  - ・北川 智久 (筑波大学附属小学校)
  - ・桐山 卓也 (東京学芸大学附属竹早小学校)
  - ・中條 範子 (柏市立風早北部小学校)
  - ・長尾 宏一 (戸田市立喜沢小学校)
  - ・名達 英詔 (北海道教育大学教育大学旭川校)
  - ・平田 智久 (十文字学園女子大学)
  - ・林 耕史 (群馬大学)
  - ・堀井 武彦 (お茶の水女子大学附属小学校)

### キリトリ

- 会場のご案内
- ・東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅 徒歩12分
  - ・東京メトロ南北線、丸ノ内線 後楽園駅 徒歩15分
  - ・都営地下鉄大江戸線・三田線 春日駅 徒歩15分



- ・一般駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
- ・お弁当をご持参されるか又はその他駅周辺でも昼食をとれるお店があります。

とき : 2013年 8月1日(木)

受付 9:00 開始 9:30

ところ : 東京学芸大学附属竹早小学校

東京都文京区小石川 4-2-1 03(3816)8943~8944

主催 児童造形教育研究会  
後援 公益財団法人教育美術振興会  
協賛 株式会社サクラクレパス

\*住所等は、外部への持ち出し、研究会との連絡以外には使用いたしません。

各幼稚園、保育園長 様  
各小学校長 様  
図画工作科主任 様  
各学年学級担任 様

児童造形教育研究会  
会長 安倍 啓 斎

本研究集会には、毎年全国各地から多くの先生方にご参加頂き誠にありがとうございます。  
今回は昨年度の主テーマ「造形活動だからこそのかかわり合いとは」を継続し、「鑑賞（みる・さわる）→感じる→共感→表現へ」をサブテーマに開催することにしました。本年度の全体会では参加された先生方が実際に行われる鑑賞の授業に参加していただき、サブテーマのプロセスを味わうことで、ただ理論を聞くというのではなく、体感、実感していただいたことをもとにテーマについて語り合っただこうという企画です。この研究会ではたびたび「かかわり合い」をテーマに掲げ、大切にしていまいりました。その「かかわり合い」は造形活動の中でどのように生まれ、子どもにとってどのような価値ある活動となるのか、参加される先生方と共に考えを深めていければと思います。

今回も東京学芸大学附属竹早小学校を会場とする運びとなりました。空調の効いた快適な環境での研修会となりますが、節電にも協力しながら研修を進めていければと思います。今年度もたくさんの先生方のご参加をお待ちしております。

<b>★日程と内容</b>		受付 9:00～
9:30	全体会	開会あいさつ（子どもコーナー開始）
	<b>実践提案およびワーク「身体で感じる名画鑑賞」</b>	
	東京学芸大学附属小金井小学校 立川泰史	
	【巨大な布にプリントされた名画に対して、子どもたちは何をどのように感じたのでしょうか。参加者も実際に巨大名画を体感しながら「鑑賞する」とは何かを考えていきます。】	
11:30～12:30	昼食	
12:30	実技研修会	
	ざっくばらん討論会（終了16:00）皆さんで語り合しましょう	
16:30	後片付け・散会	

○ 実技研修について

好評の実技研修ですが、たっぷり研修していただけるように時間を設定しました。  
楽しく実技をする中で、参加されている全国の先生方と図工のみならず、学校の様子などの情報交換をし、交流を暖めていただければと思います。  
※お子さま同伴の場合は、全体会の間「子どもコーナー」を設けます。  
子どもコーナー参加費（材料代含む）お子さま一名＝1,000円

○ 持参するもの

- ・ うわばき（スリッパ）、エプロン、タオル、はさみ、カッターナイフ、筆記用具等
  - ・ 実技研修の作品をお持ち帰りいただくための手さげ袋をご用意ください。
- ※やむを得ずご欠席の場合は、代わりの方のご参加をお願いいたします。（会費はお返しできません）

★A～Dのコースの中から一つを選んでいただきます。

領域	活動内容と対象学年 *対象学年はあくまでも目安です	担当
<b>Aコース &lt; 低・中学年 &gt;</b>		
絵	「へんてこ山の物語」 へんてこな山の形をいくつか考えることから始めます。そのアイデアをみんなで鑑賞して回り、考えを認め合うと共に自分の新たな発想に繋げます。山を描きながら想像を広げ、パス・クレヨンや絵の具などを活用して発想豊かな山を描く活動です。	長尾 安倍
造形遊び	「いろいろ ペタペタ」 誰もが一度は手にしたことのあるお花紙。おなじみの材料を使う活動でも、活動の仕方や場を変えることで意味の違った活動になります。ねらいの持ち方をどうしたらよいかなど、共に考えながら活動しましょう。	中 條
<b>Bコース &lt; 中・高学年 &gt;</b>		
絵	紙を折ったり切ったりしながら、思いもよらない形をたくさんつくって楽しみましょう。そして、お気に入りの形から、自分のイメージを広げていきます。つくる楽しさ、見る楽しさ、そして、かく楽しさを味わいませんか。	伊 藤
立体	手でこねる、丸める、のぼすなどしながら、体の感覚を使って土ねんどを扱きましょう。低・中・高学年が楽しめる3つの活動を紹介します。ねんどに指で穴をあけたときの気持ちや、糸でスパッと切る心地よさは格別です。	北 川
<b>Cコース &lt; 絵：中・高学年&gt;&lt; 立体：低・中学年&gt;</b>		
絵	モダンテクニックを使ったアートカードをつくり、アート川柳で鑑賞をします。このカードを使ってアートかるた大会をします。このかるた大会が本活動の中心です。ここでどのような感覚を使うか？他者との関わり合いは？体感しながら考えましょう。	堀 井
立体	広げてフワフワ、しばってキュッ！いろいろつけたり組み合わせたり。綿をつかった立体表現の楽しさを感じてみましょう。	名 達
<b>Dコース &lt; 絵：低・中学年&gt;&lt; 立体：中・高学年&gt;</b>		
絵	幼児でも小学生でも使う用具や材料に共通点があります。幼小の接続も視野に入れ、幼児期から小学校低学年までで使う身近な材料を使って子どもが絵を描くとはなにか体験します。	平 田
立体	短時間で接着できるホットメルトの特性を生かし、ペットボトルにいろいろなものを貼付けて楽しみたいと思います。さらに、色を塗ったり、光を当てたり、ブラックライトなんかも使いながら活動を広げていきたいと思っています。	桐 山

ホームページには過去の大会の写真が満載!! どうぞご覧ください。

児童造形教育研究会

検索

<http://www.geocities.jp/jizouken/index.html>

